



平成 28 年 3 月 28 日

各 位

会 社 名 株式会社 愛知銀行
代 表 者 名 取締役頭取 矢澤 勝幸
(コード番号 8527 東証第 1 部、名証第 1 部)
問 合 せ 先 取締役総合企画部長 高橋 知之
(TEL 052-251-3211)

第 1 0 次中期経営計画「地域に根ざし、地域社会の発展に貢献していきます」
策定のお知らせ

愛知銀行（頭取 矢澤 勝幸）では、平成 2 8 年度から平成 3 0 年度までの 3 年間を計画期間とする第 1 0 次中期経営計画「地域に根ざし、地域社会の発展に貢献していきます」を策定しましたので、お知らせします。

第 1 0 次中期経営計画「地域に根ざし、地域社会の発展に貢献していきます」の概要および計数目標につきましては、次項以降をご覧ください。

以 上

第10次中期経営計画

～地域に根ざし、地域社会の発展に貢献していきます～

(2016年4月～2019年3月)

**10年後に
目指す姿** 地元調達・地元運用に徹し、地域社会の発展とお客さまの成長に貢献する愛知のリーディングバンク

大目的

- 収益力増強のための営業体制強化
- リスク・リターンのバランスを踏まえた堅実経営
- 金融サービスを通じたメイン取引先の拡大

基本方針

- 経営資源の選択と集中
- 挑戦、スピードアップ
- 地域社会への貢献



第10次中計 基本戦略体系

トップライン強化

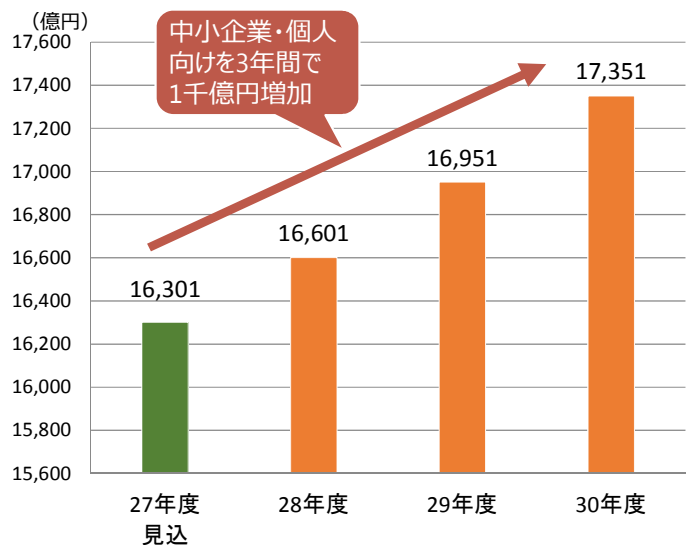
- 法人戦略
- 個人戦略
- 店舗戦略
- 市場運用戦略

経営基盤整備

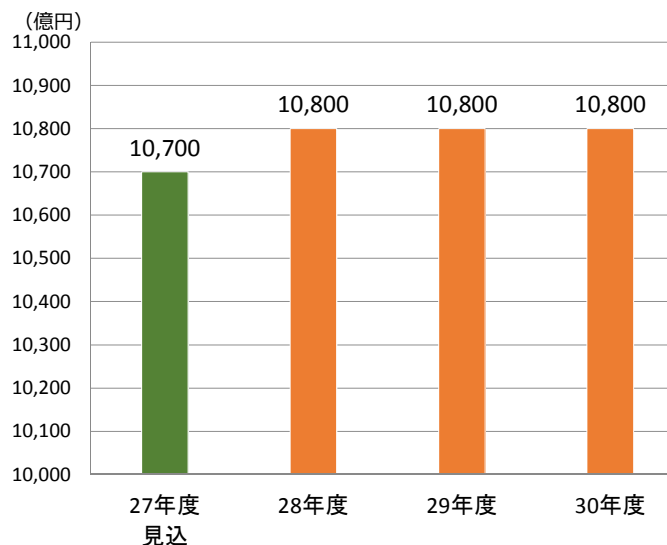
- 組織・人材戦略
- 経営管理態勢

中期経営計画を確実に遂行するためのPDCA体制の確立

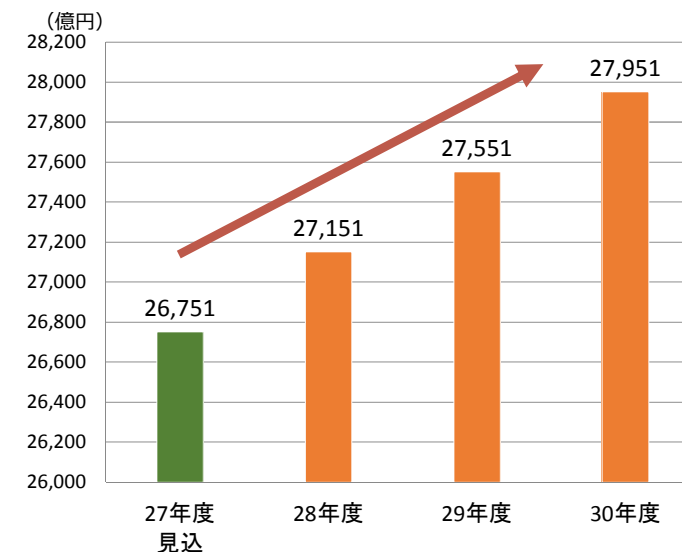
貸出金 期中平残



有価証券 期中平残



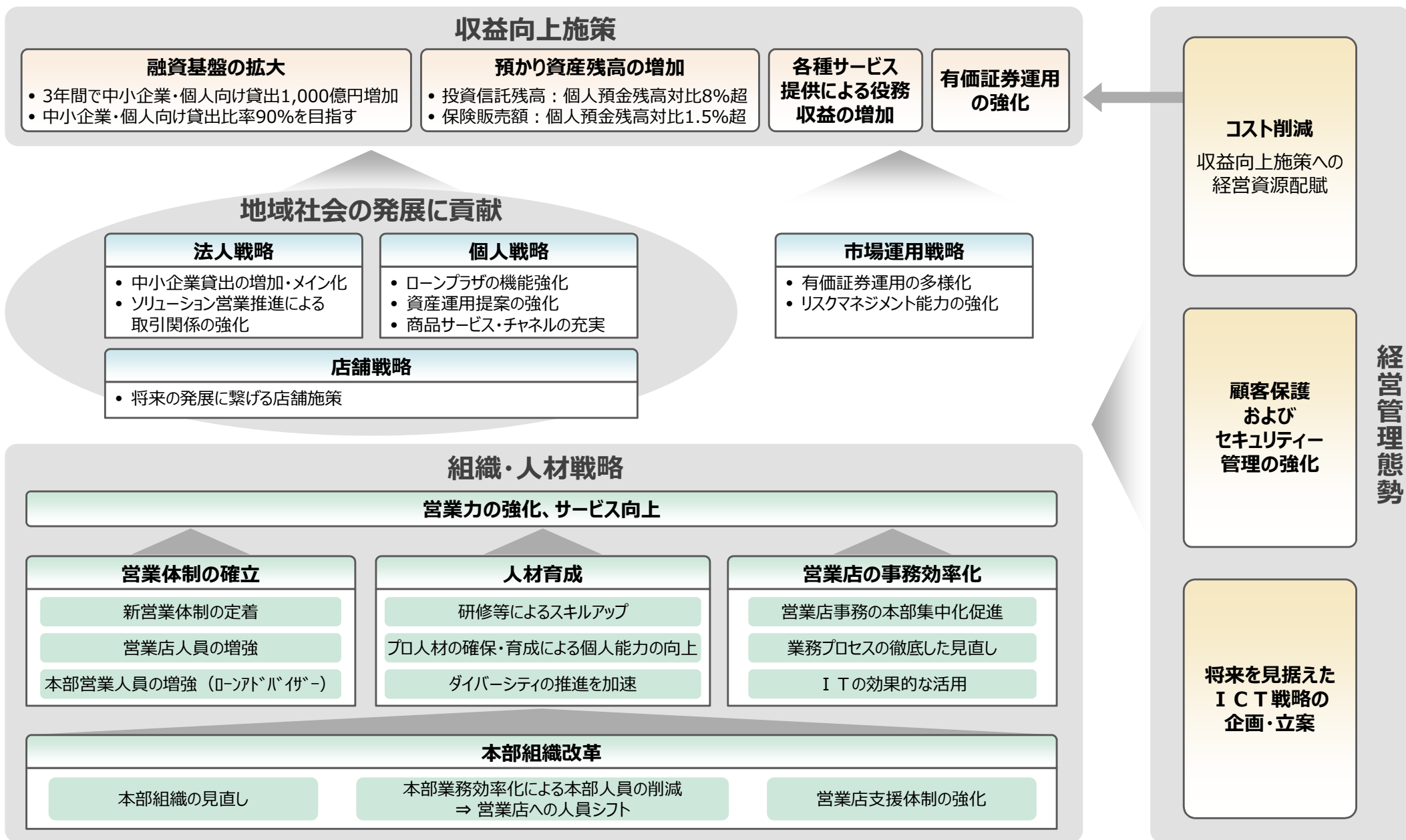
預金等 期中平残



(単位：百万円)

	27年度見込	30年度	27年度比
コア業務純益	7,700	8,200	500
資金利益	30,900	30,000	-900
役務利益	3,300	4,200	900
経費	26,400	26,300	-100
人件費	14,200	14,100	-100
物件費	10,600	10,300	-300
税金	1,600	1,900	300
経常利益	8,700	7,500	-1,200
当期純利益	6,100	5,000	-1,100

収益向上に向けた基本戦略の概要



現状の課題認識

- ✓ 県外他行の進出による県内マーケットにおける貸出金利回りの低下
- ✓ メインターゲット層である、年商1億円から10億円の取引先のシェアアップが必要
- ✓ ニーズ把握力、適切なソリューション提供力向上が不可欠
- ✓ 店舗の役割・特性を明確化し、効率的な営業体制の構築が必要
- ✓ マーケットの変化等に即して「店舗配置」、「店舗形態」、「事務体制」、「人員配置」等を見直していくことが必要

課題解決のための個別戦略

幅広いニーズ把握と適切なソリューションの迅速な提供

中小企業を主体とした事業性貸出先の増加・メイン化

効率的な営業体制の構築

施策（例）

顧客の多様なニーズの把握・本支店間のスタンス協議の実施による案件組成力の向上

成長分野に取り組む中小企業等への適切な支援

海外進出に取り組むお客さまへの適切な支援

継続的な取引に繋がる新規先の開拓、既往先の管理強化による貸出先数の増加

個社別の貸出残高ベースシェアの上昇による、ボリューム面からのメイン化

ボリューム面のメイン化が図れた先に対して決済機能の提供を推進、真のメイン化

営業店のミッションの明確化

店舗の役割やエリア戦略等の特性に応じた目標設定

中堅企業の効率的営業推進のための広域営業体制の構築

